

平成 30 年度第 5 回古賀市スポーツ推進審議会 会議録  
(要約筆記)

【会議の名称】 平成 30 年度第 5 回古賀市スポーツ推進審議会

【日時・場所】 平成 30 年 11 月 9 日(金) 18:30 ～ 20:15  
リーパスプラザこが交流館 302 会議室

【主な議題】

1. 開会
2. 教育部長のあいさつ
3. 審議会成立の報告
4. 会長あいさつ
5. 議事録署名委員の指名
6. 概要説明及び議事  
(1) 第 2 次古賀市スポーツ振興基本計画(素案)について
7. その他
8. 閉会

【傍聴者数】 0 人

【出席委員等の氏名】

委 員: 木下忠委員、吉永春男委員、樋口武史委員、橋本洋委員、石田英治委員、本多壮太郎委員、  
井浦政義委員、吉田直美委員、

青谷昇教育部長

事務局 生涯学習推進課 中村由果課長、吉永ゆかりスポーツ振興係長、荒川登志子主事、  
小西渚主任主事、高井恭平主事、草道宥哉主事

【欠席委員の氏名】 大森睦子委員、山内光春委員、石田啓委員、齋藤光範委員、柴田敬子委員、  
薄秀治委員、原尻敏広委員、

【庶務担当部署名】 生涯学習推進課

【委員に配布した資料の名称】

・第 2 次古賀市スポーツ振興基本計画(素案)

【会議の内容】

1. 開会
2. 教育部長のあいさつ
3. 審議会成立の報告
4. 会長あいさつ
5. 議事録署名委員の指名  
(会長)  
・議事録署名委員については橋本洋委員にお願いしたい。
6. 概要説明及び議事  
(会長)  
・第 2 次古賀市スポーツ振興基本計画(素案)について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

・第 2 次古賀市スポーツ振興基本計画のアウトラインを「Ⅰ計画の基本的な考え方」「Ⅱ基本理念」「Ⅲ基本目標」「Ⅳ

現状と課題」「V 目標達成をめざした具体的取組」「資料編」としている。

- ・3 ページでは基本的な考え方や計画の位置づけ、スポーツの定義などを記載している。
- ・5 ページでは計画の基本理念は 1 次計画を継続し、基本方針として「スポーツで元気な人づくり」「スポーツで元気なまちづくり」を掲げている。
- ・計画の基本目標は子ども、成人、環境、地域をターゲットとして作成した。
- ・6 ページの図は 4 つの基本目標が相互に作用し、古賀市のスポーツを支える基盤となることをイメージしている。
- ・8 ページから 16 ページには、古賀市における現状と課題として「1 次計画の総括」「市民のスポーツ活動」「スポーツ施設・環境」「指導者、体育協会、スポーツ推進委員やスポーツ活動支援者」「スポーツと地域活性化」について記載している。
- ・17 ページ以降に元気なひとづくりとして「子ども」「成人」を、元気なまちづくりとして「環境」「地域」の categories に分け、計画における各論としてめざす姿や取組内容を記載している。
- ・前回会議で、5 年を見据えた目標設定をした方が良いとの意見があったことから、次回会議までに各目標における短期的取組(5 年程度)の指標を作成したい。
- ・その後各委員の皆さんからご意見やご質問をいただきたいと思う。よろしくお願いします。

(会長)

- ・それでは、これから各部会で 30 分程度審議をよろしくお願いします。

～30 分の審議～

(会長)

- ・それでは、①子ども部会②成人部会③環境部会④地域部会の順番で発表をお願いします。

(座長)

- ・子ども部会について報告する。
- ・子どものページは 18 ページからになっているが、まず「めざす姿」のところの表記の仕方は統一した方がよいという意見です。これは事務局でも検討してあるとのことでした。
- ・時間をかけてずっと話してきたのは、「方向性とターゲット」の表記の仕方、ターゲットをどのように捉えていくのか、例えば 18 ページでは最後に「機会や場の提供をめざします」とあるが、めざすのは方向性ではないのかと。その結果、どうなるのかという目標というか、ターゲットとなる部分を書き込む必要があるのではないかと。これは全部の項目に関係してくるので、他のところとどう整合性をとっていくのかということも論議した。「ターゲット」の使い方とその内容。
- ・前段に計画策定の目標とかこれまでの課題とかが出てきているので、「方向性とターゲット」のところでは、方向性はこうです、そしてこうします、というような文言だけでまとめていくのも手かなと思う。
- ・市民の方が見られるので、難しい表現があれば出来るだけ柔らかい表現で分かりやすいようにする必要がある。
- ・数値目標が入るのであればこのページに入れてしまうのか、最後にまとめて数値目標はこうですとするのか、数値目標がこの方向性とターゲットの中に入ってくると、また見え方も違ってくるのかと思うので、この「方向性とターゲット」の表記の仕方は一考しないといけないだろうという意見でまとまった。以上です。

(委員)

- ・成人部会について報告する。
- ・全てのページめざす姿の表現は統一したほうがよいのではないかと。
- ・22 ページの「スポーツ×○○」は「○○×スポーツ」ではないかという意見が出た。
- ・22 ページ短期の取り組み、インセンティブという言葉を使っているが、健康アプリ等の表現に変えて市民の方が分かりやすい表現にしたい。
- ・23 ページめざす姿の中に「制度の構築」という言葉があるが先ほどと同様に分かりやすいものに変えたい。
- ・24 ページについては今まで部会で話してきたことが反映されていると感じた。
- ・25 ページスポーツのユニバーサルデザインのめざす姿の 3 つめ「多様な場面や環境で障がい者スポーツが行われている」は 1 つめとほとんど被っているため削除しても良いのではないかと意見が出た。

(座長)

- ・26 ページから 29 ページまで、環境部会の報告をする。
- ・言葉や表現について、どのような意味か事務局に確認しながら進めた。
- ・「基本目標 3 気軽にスポーツに参画できる環境の構築」について「参画」という言葉は、ハードルが高く本来目標としている事と違うのではないかと考え「基本目標 3 気軽にスポーツができる環境の構築」としたいと考えた。
- ・めざす姿について、「スポーツを実施しやすい環境づくり」に「誰もが」を追記した方がよいのではないかと考えた。
- ・中・長期の取組内容は、「市民が安心かつ安全に利用できる施設の維持管理」として「気軽に」を削除した方がよいの

ではないかと考えた。

- ・「公平で分かりやすいスポーツ環境づくり」を「より多くの市民や団体が活動しやすい環境づくり」とした方がいいのではないかと考えた。
- ・28 ページ、「旬な」という表現について話が出た。今話題となっている知りたい情報として、オリンピックの話題や体罰の事などを伝える言葉として使用している。表現については、委員の皆さんからの意見もお伺いしたい。
- ・中・長期の取組内容として「情報の一元化」と書かれているが、一元化によって何をめざしたいのかを記載したほうがいいのか。
- ・「一元化」という表現を変えた方がいいのではないかと考えたが、時間内に代わりとなる言葉が見つからなかった。

(座長)

- ・地域部会について報告する。
- ・30 ページについて、「地域スポーツ」と表現すると、特別なスポーツがあるように受け取られるので地域におけるスポーツ、もしくは、地域のスポーツなどの表現が分かりやすい。
- ・方向性とターゲットに突然「総合型地域スポーツクラブを活用する」と表現が出てきた。古賀市独自のそういうクラブができたらいと話が進んでいたが、活用となれば既に総合型地域スポーツクラブがあるように思う。文字面としては分らないが地域において多種・多様なスポーツを推進するような組織などが必要ではないかと言う意は出たが文字面にまで至らなかった。
- ・31 ページについては、ほとんど議論ができていない。
- ・32 ページについて、地域部会では協議をしていない内容だったが、ルーマニアキャンプ誘致だけがトーンが吐出し具体的である。表題はスポーツをツールとした地域の活性化になっているので、これを表現として書くと地域活性のためにずっとルーマニアと継続的に何かをしていかなければならないことになる。せめて、いろんな国との交流と表現をぼかして、その一つとしてルーマニアが例として上がるのは良い。
- ・事務局から数値目標とする指標が出たが、例えばスポーツ実施率は成人で出るであろうことからして、地域の指標は極めて難しいと議論をしたが意見としてのまとまりは出なかった。

(会長)

- ・第2次古賀市スポーツ振興基本計画(素案)の全体について、ご質問やご意見はないか。

(委員)

- ・「めざす姿」について、「～を構築する」「～を推進する」と記載されているが、そう実施したあと「どうなっている」という事を記載しなければ「めざす姿」という事にならないのではないかと。
- ・「めざす姿」に向けて、課題を解消するためにどのように実施していくかが「方向性とターゲット」であり、その下に具体的な取組内容を記載する。その取組によって「めざす姿」へ到達するという流れができていない。大きく変更しなくてはならないと思う。

(コーディネーター)

- ・その視点で、各部会が見直していくといいのではないかと。
- ・全体的に基本計画として、当たり障りなくまとめられているという印象である。古賀らしさがどこにも出ていないのではないかと。
- ・第1次古賀市スポーツ振興基本計画に沿ってスポーツ振興を実施してきたと思う。その中で古賀らしさはうまれているだろうか。
- ・例えば、国の総合型地域スポーツクラブではなくても、それに似た古賀市バージョン組織はないだろうか。
- ・スポーツを推進する人達もスポーツ推進委員だけではなく、今まで地域づくりに貢献した方がスポーツという視点で関わっていないだろうか。どの自治体か分からない計画になっていないか。
- ・スポーツに関する仕掛けづくりをする人がいなかったか。もしないのであれば、「新しくつくって行く」と記載してもいいと思う。

(委員)

- ・7 ページの「基本目標におけるめざす姿」を読んで、バラバラだという印象を受けた。ここをきちんと固めないと前に進まない。めざす姿であれば「こうなりたい」という姿を記載しておくべきである。
- ・12 ページの生涯スポーツについて、ウォーキングの実施率が一番高いと書いてあるが、これが環境の中に反映されていたらもっとよかったのではないかと。

(コーディネーター)

- ・私も、初めて審議会に参加した時にお伝えしたと思う。古賀市にとってウォーキングは大きな活動ではないだろうか。ある意味古賀らしさだと思う。

(会長)

・本多先生からの指摘について、事務局でまとめると考えていいのか。

(生涯学習推進課長)

・いろいろな方の意見をまとめていく上で、当たり障りのないまとめになってしまっていたと思う。次回までに事務局でまとめたいと思う。

・次回、「めざしている姿」が見えてくるような数値目標もお示ししたいと思う。そこから少しでも古賀市の特徴が表現できたらと考えている。

・古賀らしさ、古賀市の強みを、まとめる時間をいただきたい。

(コーディネーター)

・第1次は、スポーツ振興法に基づき「古賀市スポーツ振興基本計画」を策定している。今はスポーツ基本法に基づいた「スポーツ推進基本計画」が主流だと思う。

・スポーツ「振興」を「推進」に変えたことは大きい。今回から市の計画も「推進」に変えてはどうか。

(会長)

・以上で、第5回古賀市スポーツ推進審議会の審議を終了する。ご協力ありがとうございました。